

重点取組名	「高品質ももづくり」を目指した産地強化																																																															
普及活動担当	山形県村山総合支庁 産業経済部農業技術普及課																																																															
主要な活動地域・対象農業者	山形県天童市 天童市農業協同組合果樹部会モモ・スモモ部会																																																															
取組結果・成果 <取組みのねらい>	<p>1 取組みのねらい</p> <p>山形県天童市では、生食ももの新植が進んでいるが、ももの若木（定植3年目頃）が春先に衰弱・枯死する障害が発生し（発生率50%以上）栽培面積の増加に結びついていない。この障害は、園芸試験場（現 農業生産技術試験場）の試験結果から直接的な原因は凍害と特定されており、ももの産地拡大を図るうえで緊急に解決しなければならない課題となっている。</p> <p>一方、天童市は全国的に見るとももの遅場産地であり、これまでの「あかつき」・「川中島白桃」中心の品種構成を見直し、遅場産地のメリットを活かせる9・10月の出荷が市場側から求められている。</p> <p>また、天童市農協では平成13年から光センサー式の選果ラインを利用し、糖度保証を目玉とした共選体制を開始しているが、まだ全量選果できるまでの栽培技術に到達していないのが現状である。</p> <p>このような背景をふまえ、もも幼木の枯死対策の徹底と9月以降出荷品種の選定・普及拡大、生食もも向けの栽培技術の徹底を図ることにより、光センサー選果体制を活用した「高品質ももづくり」を目指した産地強化と産地拡大を指導支援するものである。</p> <p>2 活動の成果</p> <p>(1) 平成17年度の新植面積は約4.4ha（苗木導入本数1,330本）であり、栽培面積は目標の54haに達すると見込まれる。モデル的に栽培管理指導を行った幼木（面積30a）の生存率は90%であった。</p> <p>(2) 試作品種として極晩生種の「西王母」を選定した。平成17年度の「美晴白桃」の出荷量は24tであった。</p> <p>(3) 平成17年度の完全共選数量は前年比114%、完全共選率78.7%と大幅に向上した。また、「川中島白桃」の特秀率は4.6%、大玉率73.1%であった。</p> <p>表1 天童市農業協同組合におけるもも生産の現状と目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成13年度</th> <th>平成14年度</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>18年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栽培面積</td> <td>48ha</td> <td>50ha</td> <td>51ha</td> <td>52ha</td> <td>54ha</td> <td>55ha</td> </tr> <tr> <td>販売数量</td> <td>568t</td> <td>617t</td> <td>504t</td> <td>599t</td> <td>683t</td> <td>700t</td> </tr> <tr> <td>完全共選率</td> <td>13.2%</td> <td>31.3%</td> <td>49.1%</td> <td>68.9%</td> <td>78.7%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>川中島白桃特秀率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4.0%</td> <td>8.6%</td> <td>4.6%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>同上 18玉以上率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>58.1%</td> <td>72.4%</td> <td>73.1%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>美晴白桃販売数量</td> <td>-</td> <td>5t</td> <td>11t</td> <td>22t</td> <td>24t</td> <td>30t</td> </tr> <tr> <td>販売単価</td> <td>292円</td> <td>304円</td> <td>318円</td> <td>350円</td> <td>250円</td> <td>350円</td> </tr> <tr> <td>販売金額</td> <td>166百万円</td> <td>188百万円</td> <td>160百万円</td> <td>209百万円</td> <td>160百万円</td> <td>245百万円</td> </tr> </tbody> </table>		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	18年度目標	栽培面積	48ha	50ha	51ha	52ha	54ha	55ha	販売数量	568t	617t	504t	599t	683t	700t	完全共選率	13.2%	31.3%	49.1%	68.9%	78.7%	90%	川中島白桃特秀率	-	-	4.0%	8.6%	4.6%	15%	同上 18玉以上率	-	-	58.1%	72.4%	73.1%	75%	美晴白桃販売数量	-	5t	11t	22t	24t	30t	販売単価	292円	304円	318円	350円	250円	350円	販売金額	166百万円	188百万円	160百万円	209百万円	160百万円	245百万円
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	18年度目標																																																										
栽培面積	48ha	50ha	51ha	52ha	54ha	55ha																																																										
販売数量	568t	617t	504t	599t	683t	700t																																																										
完全共選率	13.2%	31.3%	49.1%	68.9%	78.7%	90%																																																										
川中島白桃特秀率	-	-	4.0%	8.6%	4.6%	15%																																																										
同上 18玉以上率	-	-	58.1%	72.4%	73.1%	75%																																																										
美晴白桃販売数量	-	5t	11t	22t	24t	30t																																																										
販売単価	292円	304円	318円	350円	250円	350円																																																										
販売金額	166百万円	188百万円	160百万円	209百万円	160百万円	245百万円																																																										
連携機関、協議会等	山形県農林水産部農業技術課、農業総合研究センター農業生産技術試験場																																																															
取組の特徴や取組に際しての工夫	<p>1 活動の経過</p> <p>(1) 凍害に遭いにくい健全な樹体づくりのための調査及び指導</p> <p>ア もも幼木（2年目）の栽培管理指導（30a）</p> <p>イ 凍害に遭いにくい樹体づくり（主枝等の日焼け防止対策を中心に）についての現地指導</p> <p>ウ 水田転作園でのももの生育不良園を対象とした、土壌物理性の改善指導及び野そ捕獲調査の実施（60a）</p> <p>(2) 品種導入のためのモデル園（30a）を設置し（「まどか」、「美晴白桃」、「紅錦香」、「西王母」、「川中島白桃」）、栽培性や果実品質等について検討を行った。</p>																																																															

- (3) 品質向上に向けた技術指導及び現地調査等を実施した。
 - ア 技術チラシ「高品質ももづくりのすすめ」を配布した。(3回)
 - イ 「高品質ももづくり」のための現地講習会を実施した。(摘果、夏期管理、せん定)
 - ウ マルチ栽培展示ほを設置した。

2 今後の展開

- (1) 新植園や幼木園を中心とした健全な樹体づくりのための重点指導
- (2) 「西王母」の安定生産と「美晴白桃」の銘柄確立
- (3) 「高品質ももづくり」のための栽培技術指導

【参考】

転作田でのもも幼木(2年目)の栽培管理指導(天童市寺津)

基本的に2本主枝開心形を目指し仕立てていく予定である。

この幼木が今後もも栽培を普及するモデル園となるように、排水対策や凍害防止対策の指導を行った。



白塗剤の塗布による日焼け防止対策の実施

普及員4名、資材業者2名により3園地で合計131本の主幹や主枝を塗布。とても暑い日で、約5時間程要した。塗りながら、幹の樹皮荒れ(コスカシバ等の被害も含む)の多さを実感した。もも生産者以外からも注目され、展示効果は絶大であったと思われる。



フェロモン剤(スカシバコン)の設置

凍害に遭いにくい健全なももの樹体を維持するために、スカシバコンを天童市寺津地区に設置した(3ha)。1年では成果ははっきりしないので、平成18年度も継続して設置する予定である。



野その捕獲調査の実施

水田転作ももの生育不良園で、野その穴が多く見られたことから、根雪前に園地内にバケツを埋め（落とし穴）、その上にワラを敷き、米糠を撒いた。

結果は、30 a の園地内に36ヶの1斗缶、バケツを埋め、37頭の野そを捕まえた。農家も大変興味を持ち、生育期間中も野そ捕獲用のパチンコを仕掛ける等、野そ対策に意欲が出てきている。



試作品種として極晩生種「西王母」を選定

「西王母」の育成地は福島県国見町、交配親は「川中島白桃」×「ゆうぞら」。

収穫期は山形では9月下旬～10月上旬頃で、大玉となる。

